

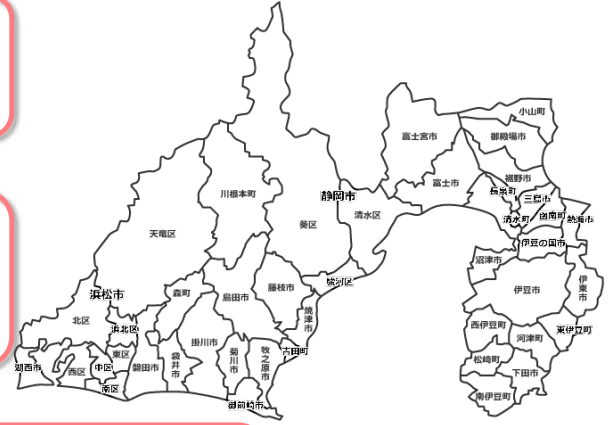
# 静岡県の事業概要 ～静岡県立こども病院～

## 【1】地域概要

- ・自治体担当管轄課：静岡県健康福祉部こども家庭課
- ・児童数(0歳～18歳以下)：595,198人(平成30年10月1日現在)
- ・精神科のある医療機関数：187機関  
うち児童精神科を標榜している医療機関5機関

## 【2】拠点病院・機関概要

- ・拠点病院機関名：静岡県立こども病院  
(病床数279床 うち児童精神科専用病棟36床)
- ・事業実施科名：こころの診療科
- ・事業開始年：平成23年度(平成20～22年度はモデル事業として実施)
- ・子どもの心の診療機関マップ実施：登録施設数 28施設  
(平成30年3月31日現在)

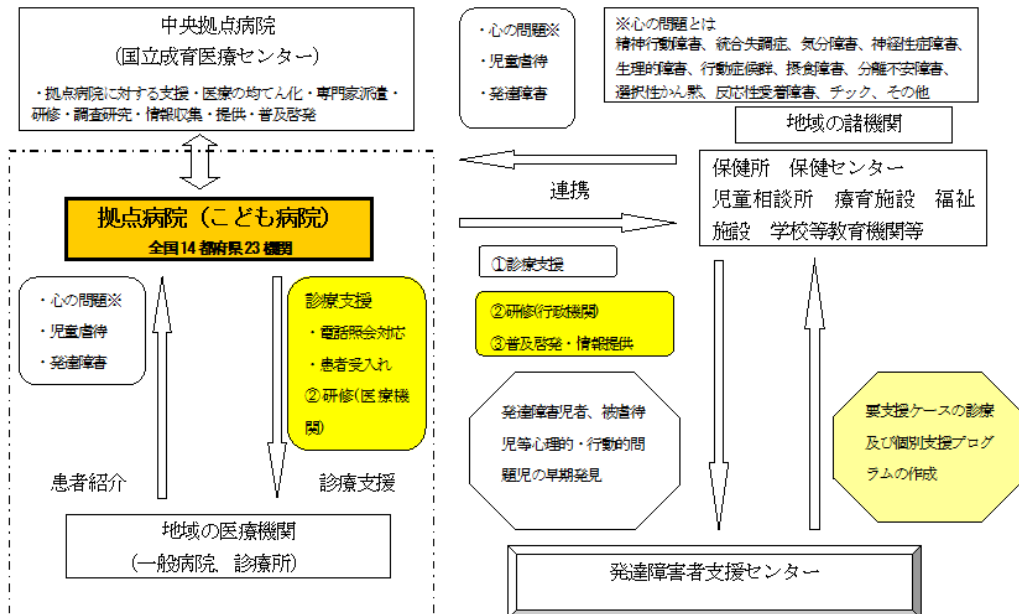


## 【3】事業実施への経緯

平成20～22年度の3カ年は、国のモデル事業として実施。平成23年度から国の「母子保健医療対策等総合支援事業」としての位置付けで事業を展開。モデル事業の実施の中で、県立こども病院が子どもの心の診療において地域医療の中で果たす役割が明確になったため、これまでに構築したネットワークを生かし、関係機関との連携を継続させている。

静岡県の事業概要～県立こども病院～

## 【4】事業図



## 【5】実施事業の概要

### ①診療支援[連携]事業

- (1)地域の医療機関から相談を受けた心の問題や児童虐待、発達障害の症例に対する診療支援を行う  
⇒紹介患者の受入件数:551件 新入院患者数:55件(うち緊急入院:9件) [H30実績]
- (2)地域の保健福祉関係機関等から相談を受けた子どもの心の問題や児童虐待、発達障害の症例に対する医学的支援を行う  
⇒児童養護施設巡回相談:10施設10回 [H30実績]
- (3)地域保健福祉関係機関等との連携会議(児童相談所及び教育相談機関の連絡会等への参加及び助言)を実施(18回)  
⇒静岡市要保護児童地域協議会各区実務者会議(17回)、静岡市子どもと家族の精神保健ネットワーク運営会議(2回) [H30実績]

### ②診療関係者研修・育成事業

- (1)医師等専門職に対する実施研修等を実施  
⇒全国児童青年精神科医療施設協議会に出席 [H30実績]
- (2)地域医療機関、保健福祉関係機関等の職員に対する講演会等の開催  
⇒教師のための児童思春期精神保健講座の開催(5回、参加者:159人)、静岡市子どもと家族の精神保健ネットワークの講師(1回) [H30実績]
- (3)子どもの心の診療に専門的に携わる医師及び関係専門職の育成  
⇒研修医の受入れ(3名) [H30実績]

## 【6】特徴や特に力を入れている事業内容

県立こども病院は、拠点病院として地域医療機関への診療支援はもとより、児童虐待や発達障害の症例に対する医学的支援として、特に児童養護施設への巡回を中心に、地域との連携に力を入れているところである。また、医師等専門職に対する実地研修等を通じて、子どもの心の診療に専門的に携わる医師及び関係専門職の育成にも努めている。

県は、県立こども病院の拠点病院としての実地内容を活かして、行政や保健福祉機関との連携について調整や事業啓発を行い、より効果的な展開に繋げていくスタンスを取っている。

## 【7】事業による効果と思われるもの(H23-27年度からの改善点など)

県立こども病院が、地域の医療機関から相談を受けた心の問題や児童虐待、発達障害の症例に対する診療支援は、年平均で約600件(※)の実績となっており、専門医療期間としての地域医療への貢献度は大変高いものと考えている。

※紹介患者受入実績:(H23)593件、(H24)700件、(H25)608件、(H26)583件、(H27)572件、(H28)567件  
(H29)541件、(H30)551件

## 【8】目指す方向性について (今後の予定事業や展望、目標など)

児童精神を診察できる医師が、県内中西部地域に集中している現状がある。県立こども病院では、研修医を受入れ、専門職としての育成に力を入れているが、県としても、児童精神科医を養成するため国立大学法人浜松医科大学に寄附講座を開講し、勤務医師増加に向けて取り組んでいるところである。

県立こども病院は、拠点病院として様々な心の問題に対しての課題アプローチに積極的に取り組んでいるが、県との連携をより一層強めることで、さらに効果的かつ広域的な事業展開によるネットワーク体制の構築に繋がることから、今後、拠点病院と行政の定期的な情報共有、事業連携等さらに力を入れて生きたい。